

函館市情報教育研究会公開研究授業に参加して

南北海道情報教育研究会

研究部長 松村 浩良

1. 授業のねらいと内容

本時は、「個人情報の発信の仕方について考え、判断しようする態度を身につける。」ことをねらいとしている。

また、学習内容は、以下の5点である。

- プロフィールサイト(プロフ)を作ってみる。
- 各自が作ったプロフを交流し、問題点を探る。
- それぞれのプロフの問題点について交流する。
- インターネット上での個人情報の取り扱いについて知る。
- 個人情報はどこまで発信してもよいのか、考え交流する。

2. 児童の様子

PCの操作に習熟している子が多く、担任1人の指導でも、十分に対応できるレベルにあった。また、プロフを作成する際、自分の住所の一部（函館市赤川町）を表記している子が多かった。よって、個人情報についての知識を既に理解している子も見られた。

しかし、学校名や氏名、住所をすべて表記している子もいて、個人情報に対する意識の違いが見られた。

3. 研究協議

授業後の研究協議では以下の意見が出された。

- 子供たちが自己の責任をとれない今の年令（小学校6年生）では、個人情報の保護が非常に重要である。
- 他校の児童であれば、個人情報についての意識が薄いですが、赤川小学校の児童は、授業を受ける前から個人情報についての意識を高く持っている。しかし、担任が、「個人情報についての授業をします」と言わなかったら、違う展開になっていたかもしれない。
- 習熟度別授業のように、個人レベルの差を解消させるために、TTの授業を行うことも良い。
- 将来的には、個人情報を公開してネット社会に出ることが必要である。その時に、どのような注意が必要か、いつから行うことができるかを指導することも重要である。